

## 深谷市内の緩和ケア病棟の実態は

持田 清

**問** 厚生労働省は、平成17年5月に癌対策本部を設置して日本人の死因のトップである癌対策の強化に乗り出した。その中で、患者の痛みを和らげ生活の質を上げる緩和ケアの必要性を上げてきている。そうしたことから、患者の痛みや症状のコントロールなどを受け入れる入院施設、緩和ケア病棟（ホスピス）を持つ病院の数が深谷市内にいくつあるのか。

**答** 現在深谷市内には、そのような病院施設はありません。しかし、埼玉県内には、上尾市の甕生病院に19床、伊奈町の県立がんセンターに18床の2医療機関に緩和ケア病棟があります。

**問** 住民から施設、設置の要望は。

**答** 現在総合支所を含めて問い合わせはありません。今後の方針として、国では病院に設置されている介護型療養病床を平成23年までに、医療性の低い患者に対しては在宅あ

るいは介護施設へ入所するようになり、また医療性の高い患者には医療保険で対応できる病床にするという方針が提出されています。今後の研究としては、この病院が緩和ケア施設とするか医療型の病床にするか、これは病院の方針ということになります。深谷市内における病院が、今後緩和ケア施設に再編されるようなことになりましたら、市民の要望を支援してまいります。



## 新深谷市の行政運営

横川 孝

**問** 坂戸市等ではHPや広報紙の広告掲載にとどまらず、切手や収入印紙を販売している。深谷市の増収策は。

**答** 有料広告は、水道の検針票の他に循環バスの中でも実施しています。今後、収入確保に向け、調査研究します。

**問** 10年間で100億円の人員削減の根拠は。

**答** 一般職は、合併後10年で416人定年退職者を見込んでいます。その2分の1を採用しないことで、100億円の削減を試算しています。

**問** 国道140号バイパス沿線に、公共下水道の整備を。

**答** 今後の発展が見込まれる地域ですが、現状では難しい状況であります。

**問** 効率的な行政運営から、総合支所の活用策は。

**答** 総合支所の支所長及び課長には、それぞれ本庁の部長権限及び課長と同様の権限を持つていただいています。

**問** 合併特例債の発行は。現在は、未発行です。今

後は、し尿処理施設や葬斎施設及び下水道管の更新などが想定されます。

## 人口減少化社会

**問** 深谷市の未婚率は、平成12年の調査で30歳から34歳が全体で33・1%、男性は42・7%である。社会福祉協議会などを含めた支援策は。

**答** 国勢調査によると、本市の未婚率は増加しています。行政では難しく、民間に期待しています。

**問** 花園幼稚園の通園バスの運行で、保護者が心配しているが、検討の考えは。

**答** 検討の機会は設けます。



**問** 少子化で近い将来、大学に全員入学できる時代を迎えようとしている。このような環境の中で大学誘致や市立大学設立に、何10億あるいは100億円単位の投資は深谷市民にとってメリットがあるとは理解されないのではないかと。深谷市は行財政改革推進室を設置し、人件費だけでも10年間で100億円の削減を目指しているのだから。

**答** 深谷市は、教育立市を目指すべきだと思います。平成12年からどんな大学がよいか検討を重ねています。少子化の中では是非欲しいのが看護・福祉系の大学です。民がよいか公がよいか等市に負の遺産を残さぬよう、また、市にとってのメリットを十分に検討してまいります。

## 大学誘致や市立大学設立は少子化や財政面から困難では

市川誠一

## 市内循環バスの早期運行を花園、岡部地区にも！

松本博道

**問** 市内循環バスは、2年を目途に再編とあるが、早期実現に向けて取り組めないか。

**答** 運行には様々な手続きに約1年を要するが、早期に運行計画を策定し、平成19年には運行できるよう致します。

## 新市の総合振興計画は？

**問** ①合併時の新市建設計画が確実に反映されるのか。②花園インターを活用した産業振興をどのように位置づけるか。③140号バイパス沿線の急激な開発に、土地利用計画が策定されるまでの対応は。

**答** ①新市建設計画を尊重し早急に具体的内容に取り組みます。②新市の玄関口である花園ICの活用は、より詳細で具体的な内容について検討します。③深谷市開発行為等指導要綱に基づき指導してまいります。

## 花園小学校体育館の建て替えと周辺環境整備は？

**問** ①築40年以上経過した体



花園小学校体育館

育館の規模と地域利用を考えた設計は。②小学校と同じ敷地に複数の公共施設があり、出入りが自由なため不審者侵入対策が必要では。③小学校西側に児童50人を依託した学童保育所がある。周辺住民に迷惑をかけないよう、敷地内に駐車場整備をし、隣の幼稚園と相互利用をしたらどうか。

**答** ①体育館の面積は1215㎡となり、住民の利用を考慮し148㎡の付属施設を加算し建て替えを計画します。②防犯対策には積極的に取り組み、フェンスの整備を検討します。③体育館の建設に併せて総合的に検討します。

## 福祉教育・ボランティア教育の推進について

吉野茂男

**問** 福祉教育・ボランティア教育を今までのような内容で行っていたのか。新深谷市となつて今後の推進計画は。

**答** 平成13年度から小学校、14年度から中学校で、新設された総合的な学習の時間を中心に行っています。市内全ての小中学校で指導しています。内容は高齢者施設訪問し、ふれあい体験。障害のあるかたを学校に招き話を伺ったり、車いす体験・アイマスク体験、手話や点字学習等児童生徒の事象や地域の状況に応じ、各学校で工夫推進しています。今後学習の中に体験の機会を多く設定し、児童生徒が身近なものとして、家族や地域の高齢者や障害のあるかたにも目を向け、心配りのできるやさしい児童生徒の育成に努めます。

**問** 国保、老健医療費増を防ぐ対策を伺う。

**答** 被保険者の医療機関への受診状況を、医療費通知を年6回送り、適正利用啓発目的

として行っています。

**問** 検査費用、薬剤費の無駄を抑える対策を伺う。

**答** 医療機関から他の医療機関へ紹介、検査等の複数受診が考えられ、一つの医療機関では不安という精神的不安を解消するため、専門資格を持つ保健師を自宅派遣指導を行っています。重複・頻回受診者訪問指導事業を実施しています。本人自身家族が疾病予防や健康管理することにより、将来医療費が抑制されます。引き続き重複・頻回受診者訪問指導事業を実施、保健センターと連携を図り指導してまいります。



車いす体験



**問** 深谷市の水道も老朽化しており、石綿（アスベスト）管の敷設替えが210kmで84億円、浄水場の建て替えに4ヶ所で160億円が必要です。維持管理を含め、安全な水を供給できるよう検討し、3年を目途に見直します。